



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 サイボー株式会社
 コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 米澤 幸男
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-267-5151

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,101	△10.5	217	—	212	—	116	—
2019年3月期第1四半期	2,347	3.6	△188	—	△164	—	△140	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 73百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.85	—
2019年3月期第1四半期	△10.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	26,080	—	16,096	—	—	53.8
2019年3月期	26,290	—	16,113	—	—	53.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,035百万円 2019年3月期 14,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,164	△5.6	307	—	355	—	△246	—	△18.65
通期	8,316	△1.5	601	—	692	—	△37	—	△2.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	14,000,000 株	2019年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	802,007 株	2019年3月期	812,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,189,531 株	2019年3月期1Q	13,183,993 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・財政政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調がみられたものの、海外では米中両国の貿易摩擦の長期化や中東ホルムズ海峡をめぐる緊迫した状況が世界経済に影響を及ぼす懸念材料となり、景気の先行きは不透明感が増しております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によるユニフォーム業界の堅調な商いに支えられたものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みが依然として続いており、厳しい状況で推移しました。不動産活用事業は、当社の賃貸物件であった大型商業施設「イオンモール川口」につきまして2018年9月に賃貸借契約が終了した影響から賃貸収入が減少しました。一方、その他の賃貸物件であるイオンモール川口前川や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,101百万円（前年同期比10.5%減）となりました。営業損益は前年同期と比べ405百万円損失が改善して217百万円の利益となり、経常損益は前年同期と比べ376百万円損失が改善して212百万円の利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては前年同期と比べ257百万円損失が改善して116百万円の利益となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、リネン生地販売が堅調に推移したものの、原糸販売の売上が産地の生産調整により減少し、減収減益となりました。

アパレル部は、引き続きユニフォーム業界が安定している中、主力である法人ユニフォームの直需と百貨店からのスポーツ関連商品等の新規物件受注により順調に推移し増収増益となりました。

カジュアル部は、キャンプ関連商品の販売が伸び増収となり、また不採算店舗の撤退を進めたことから費用が減少し、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、新規販売先の売上が伸びたものの、服地及び付属レースの売上が減少したことから総じて減収となり営業損失が増加しました。

この結果、繊維事業の売上高は1,289百万円（前年同期比8.9%減）となり、営業利益は16百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、2018年9月に「イオンモール川口」の賃貸借契約が終了したことから、売上高は減収となりましたが、前年同期に実施した加速償却による多額の費用の計上がなくなった影響から増益となりました。

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに隣接地に病院施設を賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。

なお、「イオンモール川口」は、2019年9月に解体が完了する予定であり、当第2四半期連結累計期間に解体撤去費用640百万円を特別損失に計上する見込みであります。また、2019年7月にイオンモール㈱との間で新しい大型商業施設の建物賃貸借基本協定を締結したことを踏まえ、建設施工会社との工事請負契約（建築価額140億円）を締結いたしました。

更に、不足している産婦人科を誘致し地域に貢献すると共に、安定収益を維持するために新たな賃貸施設である「(仮称)川口レディースクリニック」を着工しており、翌期には賃貸を開始する予定であります。

この結果、不動産活用事業の売上高は566百万円（前年同期比16.0%減）、営業損益は前年同期と比べ356百万円損失が改善して156百万円の利益となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場のうち、最大規模の川口グリーンゴルフ練習場においては、前年同期は設備更新工事により入場者が一時的に減少しましたが、当四半期は入場者が増加し増収となりました。また、当四半期は、前年同期の様な設備更新工事による多額な費用計上もなく、大幅な増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は236百万円（前年同期比1.4%増）、営業損益は前年同期と比べ53百万円損失が改善して42百万円の利益となりました。

④ その他の事業

ギフト事業部は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用ギフト販売により増収となりましたが、経費が増加し営業損失が増加しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工が増えたことや、大口物件の受注もあり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は137百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は7百万円（前年同期比545.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末に比べ210百万円減少して26,080百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金や投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少して9,983百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金や長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少して16,096百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったものの、期末配当金の支払やその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ229百万円増加して2,011百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ274百万円増加して492百万円となりました。これは主に減価償却費が減少したものの、税金等調整前四半期利益になったことや売上債権の減少等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ27百万円減少して61百万円となりました。これは主に有価証券の売却による収入が減少したものの、投資有価証券の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ85百万円減少して201百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出や配当金の支払額が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月16日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,039,631	2,252,386
受取手形及び売掛金	1,149,892	965,534
商品及び製品	1,132,870	1,109,784
仕掛品	10,986	14,310
原材料及び貯蔵品	33,883	37,104
その他	415,082	378,361
貸倒引当金	△2,923	△2,969
流動資産合計	4,779,423	4,754,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,496,554	8,407,987
土地	7,295,223	7,295,223
その他（純額）	587,322	615,436
有形固定資産合計	16,379,100	16,318,647
無形固定資産	33,790	31,955
投資その他の資産		
投資有価証券	4,388,271	4,284,737
その他	744,089	750,517
貸倒引当金	△34,011	△60,100
投資その他の資産合計	5,098,349	4,975,155
固定資産合計	21,511,240	21,325,758
資産合計	26,290,663	26,080,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	706,647	609,009
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	493,684	485,284
未払法人税等	849	3,427
賞与引当金	53,661	25,263
役員賞与引当金	6,350	1,587
資産除去債務	451,141	451,141
1年内返還予定の預り保証金	507,639	490,000
その他	272,938	331,636
流動負債合計	2,542,912	2,477,350
固定負債		
長期借入金	1,302,258	1,187,037
役員退職慰労引当金	259,752	241,710
退職給付に係る負債	168,882	172,031
長期預り保証金	5,468,589	5,471,981
資産除去債務	346,394	347,255
その他	88,603	86,579
固定負債合計	7,634,479	7,506,595
負債合計	10,177,392	9,983,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	871,061	872,246
利益剰余金	11,739,863	11,765,240
自己株式	△494,970	△490,324
株主資本合計	13,517,955	13,549,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618,302	554,136
退職給付に係る調整累計額	△69,266	△68,196
その他の包括利益累計額合計	549,035	485,940
新株予約権	7,335	5,491
非支配株主持分	2,038,945	2,055,732
純資産合計	16,113,271	16,096,326
負債純資産合計	26,290,663	26,080,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,347,138	2,101,665
売上原価	2,147,199	1,504,586
売上総利益	199,938	597,079
販売費及び一般管理費	388,021	379,448
営業利益又は営業損失(△)	△188,083	217,630
営業外収益		
受取利息	877	333
受取配当金	46,502	46,126
その他	18,250	2,949
営業外収益合計	65,629	49,409
営業外費用		
支払利息	8,864	5,983
持分法による投資損失	21,727	10,258
貸倒引当金繰入額	10,000	26,072
その他	1,307	12,166
営業外費用合計	41,898	54,481
経常利益又は経常損失(△)	△164,352	212,559
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,408
特別利益合計	-	1,408
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△164,352	213,967
法人税、住民税及び事業税	82,562	33,932
法人税等調整額	△116,320	43,979
法人税等合計	△33,758	77,912
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△130,593	136,054
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,074	19,323
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,668	116,731

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△130,593	136,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,519	△62,099
持分法適用会社に対する持分相当額	7,593	△799
その他の包括利益合計	30,113	△62,899
四半期包括利益	△100,480	73,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109,542	53,636
非支配株主に係る四半期包括利益	9,062	19,519

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△164,352	213,967
減価償却費	620,648	148,071
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,000	26,134
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,992	△28,398
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,762	△4,762
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,793	3,148
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,026	△18,041
受取利息及び受取配当金	△47,379	△46,460
支払利息	8,864	5,983
持分法による投資損益(△は益)	21,727	10,258
売上債権の増減額(△は増加)	△260,629	184,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,203	16,540
仕入債務の増減額(△は減少)	86,233	△97,638
預り保証金の増減額(△は減少)	△25,306	△14,247
その他	914	61,724
小計	203,582	460,638
利息及び配当金の受取額	49,645	49,187
利息の支払額	△8,864	△5,983
法人税等の支払額	△26,237	△11,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,126	492,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	30,000	-
有形固定資産の取得による支出	△90,492	△96,640
投資有価証券の取得による支出	△60,337	△387
定期預金の増減額(△は増加)	148	16,948
貸付けによる支出	△700	△1,200
貸付金の回収による収入	1,660	1,340
その他	31,013	18,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,708	△61,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	190,000	140,000
短期借入金の返済による支出	△160,000	△110,000
長期借入金の返済による支出	△154,872	△123,621
配当金の支払額	△130,467	△91,354
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	-	5,190
その他	△28,762	△18,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,833	△201,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,414	229,702
現金及び現金同等物の期首残高	2,434,695	1,782,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,277,280	2,011,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,413,701	607,548	233,210	2,254,460	92,678	2,347,138	—	2,347,138
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	67,582	29	69,711	16,847	86,559	△86,559	—
計	1,415,801	675,130	233,239	2,324,172	109,525	2,433,697	△86,559	2,347,138
セグメント利益 又は損失(△)	20,991	△200,123	△10,905	△190,037	1,224	△188,812	729	△188,083

- (注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。
- 2 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,287,739	499,297	236,415	2,023,452	78,212	2,101,665	—	2,101,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	67,582	—	69,682	59,393	129,075	△129,075	—
計	1,289,839	566,879	236,415	2,093,134	137,606	2,230,741	△129,075	2,101,665
セグメント利益	16,490	156,299	42,225	215,015	7,910	222,926	△5,295	217,630

- (注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。
- 2 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(重要な契約の締結)

当社は、2019年7月19日開催の取締役会において、イオンモール㈱との間で大型商業施設の建物賃貸借基本協定を締結したことを踏まえ、建設施工会社と工事請負契約を締結することを決議し、同日付で当該契約を締結いたしました。

1. 契約の目的

イオンモール㈱に大型商業施設を賃貸するため

2. 契約の相手会社

株式会社安藤・間

3. 建築物件の内容

- ①名称 (仮称) イオンモール川口
- ②所在地 埼玉県川口市大字安行領根岸字外谷田3180番地外
- ③概要 大型商業施設
- ④敷地面積 約 78,000㎡
- ⑤延床面積 約125,000㎡
- ⑥建築価額 140億円(工事請負契約に基づく価額であり、変更になる場合があります。)
- ⑦引渡日 2021年3月予定

4. 今後の見通し

2020年3月期の当社の業績に与える影響はないと判断しております。